

2 学期始業式

校長 栃倉 和則

北多摩で生まれ育った、豊多摩校長、さいたま在住の栃倉です。

みなさん、最近、空を見上げたことはありますか。まだ暑い日が続きますが、雲の形や動きはあきらかに変わっています。下を向いてばかりではいけません。You'll never find a rainbow, if you're looking down. 「うつむいていたら、虹を見つけることはできない」チャップリンのセリフです。

さて、東京オリンピックが終わりました。パラリンピックは続いていますが、少し振り返ってみたいと思います。

話は2011年に遡ります。今から10年前ですね。2021年3月、何が起こったか覚えていますか。3.11 東日本大震災です。震災後の復興を理念として、2013年「お・も・て・な・し」のキャッチフレーズで招致決定。

以来、実に様々なことがありました。

- 新国立競技場建設計画を白紙撤回
- 公式エンブレムが盗作だという疑惑により使用中止
- 日本オリンピック委員会の会長が誘致活動の贈賄疑惑により辞任
- そして、あろうことか開催予定の2020年に入って、新型コロナ感染拡大、延期決定
- 2021年、組織委員会会長が問題発言により辞任「女性がいると会議は長くなる」？
- 開催の可否をめぐって議論も多く、反対の意を示す多くの聖火ランナーが辞退
- 直前の7月に、開会式の作曲担当者が、過去のいじめ加害者として批判を受け、辞任
- さらに、開閉会式のディレクターが、過去のお笑いで、ユダヤ人大量虐殺をネタにしていたとして、解任された・・・これはなんと、開会式の前日でした。

また、なぜ酷暑の東京で？長引く感染拡大の東京で？と、直前まで、ずっと言い続けられてきました。

そんな話題に事欠かないオリンピックでしたが、私が考えたことを3つに絞って、短くお話したいと思います。

一つ目は、オリンピック実施後の調査で「やってよかった」という人が70%以上とも言われています。その理由は、私たちが心配したコロナのことについてではなくて、アスリートたちのピュアなモチベーションに支えられたひたむきなパフォーマンスによるものだったのだと思います。皆さんも、テレビで観戦していて、感動した場面、手に汗を握る場面もあったのではないのでしょうか。

政府の支持率とはまったく無関係のものだと思います。なぜやってよかったと思った人

がいるのか、そこをしっかりとクリティカルに理解してほしいと思います。問題を取り違えてはいけません。

二つ目は、卓球のラブゲームの話。卓球は11点で1セットですが、相手が得点できない、いわゆるラブゲームをマナー違反としています。これは卓球が21点で1セットだった頃の名残だろうと言われていました。一方的な試合は紳士的でないという意味なのでしょうね。でも、相手に1点プレゼントすることがなぜ、紳士的だと言えるのでしょうか。私は、最後まで全力で闘ってこそ、紳士的だと思います。もし自分が負けるとして、1点貰ったところで何も嬉しくはない。伊藤美誠選手も、相手に失礼だと思って、ラブゲームを敢行したと言っていました。卓球の文化は認めるとしても、試合で手抜きをすることは許されないと思うのです。スポーツに忖度は必要ありません。

三つ目に、オリンピックは平和の象徴です。「オリンピック休戦」という言葉を聞いたことがありますか。決して昔の話ではありません。古代オリンピックでは、開催地までの往復の選手や観客の安全を願い、その期間の戦争を休止しました。その故事がきっかけだったことは確かですが、「オリンピック休戦」は、1992年の国際オリンピック委員会によって提唱され、1994年の大会から導入されました。つまり、制度化されたのはこの30年のこと。原点は「世界の平和」。紛争をスポーツに置き換えることで争いをなくすという理念が継承され、古代から今、そして未来へとつないでいるわけです。このような理念が継承されているということは、逆に言えば、現在でも世界のさまざまなところで戦争や紛争が続いているということなのです。

オリンピックで、メダル数を競う・・・という話になると私は今でも、ナショナリズムを感じてしまいます。そして、今回の東京オリンピックでも複数の亡命者がありました。さらに、オリンピック後ではありますが、タリバンがアフガニスタンを掌握、20年にも及ぶアメリカの介入が事実上、敗北したというニュースも入ってきました。テロに巻き込まれて13名のアメリカ兵（多くは20代前半、5名は20歳）が命を落とすという後味の悪い結果となりましたが、彼らは勇敢だった、作戦は成功だったと、バイデン大統領は終結宣言をしています。しかしながら、首都カブールがタリバンに制圧されていることから、移動することができない多数の帰国希望者が残されていると考えられています。

本当の世界の平和は、いつやってくるのでしょうか。このあたりのお話は、今度またいたしましょう。今日、お話ししたかったのは、私が普段から大切にしていること。すなわち、言われたことを鵜呑みにせず、クリティカルに考えること、物事を両面から見るのが大切であるということにほかなりません。

コロナによる緊急事態宣言が継続される中、今日二学期が始まりました。記念祭、体育祭、できる形で実現させたいと考えていましたが、やはりそれもかなり厳しい制約の下で行うことになりそうです。すでにクラッシでお知らせしたとおり、本校でも夏休み中に複数の校内感染と考えられる陽性者が出ています。これから、さらに感染拡大も懸念されます。部活動でも、授業をはじめとする日常生活でも、具体的な感染症対策をお示ししています。学友のみなさんの理解と行動をお願いします。

それでは、みなさん、二学期も。 *Touch the Sky!*